



山口小学校 6 年生 ジオサイトで総合学習 震災メモリアルパーク中の浜・学ぶ防災

十一月二十九日（水）、震災メモリアルパーク中の浜と田老で出前授業を行いました。

学習したのは、宮古市立山口小学校六年生二十三名。中の浜では、浄土ヶ浜ネイチャーガイドの佐々木洋介さんから、キャンプ場だったこの場所を襲った津波の脅威を山肌に記された到達点表示や破壊された施設を見ながら解説いただきました。また高さ三〇メートルにある展望所に登り、津波の時は遠くでなく高いところへ避難することが強調されました。「どうして、元の形に戻さず、公園にしたのですか」という質問。「このような被害が再び起きないように、みなさんに伝えていくことが大事だからです。」

三陸ジオパークでは出前授業を行っています。お気軽にお問い合わせください。

(宮古市観光港湾課)



田老の学ぶ防災ツアーでは、防潮堤の上を歩き、田老の町がこれまでどんな取り組みをしてきたのかなどの説明を受け、津波遺構たろう観光ホテル、津波到達点、そして三王岩を見学しました。ガイドさんからは、自然災害を防ぐことはできないし、自然はおいしいものや、美しい景観で私たちを楽しませてくれるものもあるから、自分たちでできる防災に取り組み、共存していくことが大事であること、そして、心に留めておいてほしい三つのことが伝えられました。

① 正常化の偏見

「今まで大丈夫だったから大丈夫」と考えないこと

② 集団同調バイアス

みんながここにいるから逃げなくていいと思うのではなく、「行こう!」という避難率先者になろう

③ エキスパートエラー

専門家の意見や予測をうのみにしないこと



佐々木 純子さん

第8回日本ジオパーク全国大会 男鹿半島・大潟大会

日本ジオパークネットワークが活動を開始して10年目の今年の大会は、10月25日～26日、なまはげの里、秋田県の男鹿半島・大潟ジオパークを舞台に開催されました。全国から50のジオパーク(準会員含む)、約1,200名が参加しました。講演「キッチン火山学」では、チーズやココアなどを使い台所の科学で大地の成り立ちを解明、10の分科会では、テレビ番組『プラタモリ』を担当したガイドさんを講師に迎え、ジオパークをわかりやすく、おもしろく伝える工夫を伝授いただくなど盛りだくさん。また地元小学生が参加者一人一人に手紙をくれるという心温まる演出や、男鹿の物産展もあり、学びとおもてなしの大会でした。



東北には8つのジオパークがあり、うち4つは秋田県。ジオパークごとの違いを比較してみると様々な発見があります。ちなみに三陸ジオパークは全国で一番広いジオパーク



ジオ掲示板

「三陸ジオパーク認定ガイド」
を目指す認定講座開講中!

「三陸ジオパークを満喫したい!」という方のために20名の三陸ジオパーク認定ガイドが三陸各地域にいることを知っていますか?10月から始まった認定講座は、座学に加え、現地に足を運ぶ「ジオめぐり」などバラエティに富んだ内容で構成されています。ガイドになるためには、認定講座の受講後に実技と筆記の試験を受けるだけでなく、安全に楽しんでいただくために救急法やネイチャーゲームなどの知識の習得も必要とされます。が、講座は一般の方が受けられるものもありますので、三陸をもっと知りたい!という方は、ぜひチェックしてみてください。

→sanriku.geo.com

ジオめぐり 種差海岸

次回講座

12月8日(金) 13:00～
1月21日(日) 13:00～
場所:宮古市民総合体育館
スポーツフォーラム棟3F

津波遺構 たろう観光ホテル 一般公開

宮古のジオサイト



「学ぶ防災」ガイド
申込先:0193-77-3305

通常は、予約見学のたろう観光ホテル。11月25、26日の二日間は一般公開。約250名が見学に訪れました。3階まで津波にのまれた「もの言わぬ語り部」は、自然災害の脅威と防災の大切さを伝え続けています。幾度経験しても年月がたつと薄くなっていく記憶を風化させず、後世の未来を守るため。

10月30日(月)～11月1日(水) ジオパーク再認定審査



三陸ジオパークが、日本ジオパークに認定されてから4年が経ち、10月に再認定審査がありました。保全や教育、持続可能な開発などジオパーク活動に対する取り組みを北部、中部、南部の3か所で審査。通過すれば、「再認定」となり次の審査は4年後。また、結果によっては2年後に再審査となります。結果発表は12月22日です!



宮古市のジオサイト紹介パンフ



www.facebook.com/Miyako.Geopark

Facebook



www.twitter.com/Miyako_Geopark

twitter



ジオ発見新聞バックナンバー



宮古市ジオパーク協議会(宮古市観光港湾課内) TEL:0193-68-9091 FAX:0193-63-9120